

理事長挨拶



社団法人 大正琴協会理事長
海部俊樹

酷暑の折、会員ならびに愛好者の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は社団法人大正琴協会の運営に格別なるご理解とお力添えをいただき、厚く御礼を申し上げます。

平成5年5月に公益法人として発足し、大正琴愛好者の活動を通して人々の多様な学習活動の普及・振興を図るとともに、講演会、研修会等の開催による人材育成事業や地域のご要望に対しても、無理なく消化し、漸く10周年の節目を迎えることができましたことは誠に喜ばしい限りで、会員、愛好者の皆さんの活発な学習活動と旺盛なパワーに改めて敬意を表する次第であります。

音楽は洋の東西、老若男女などに関わりなく、人と社会との調和、共生に言葉以上に人の心を和ませ、安らぎや、慰めをもたらす要素があります。

大正琴は創作以来90年の長期にわたり、大勢の愛好者に支持され、順当に推移していることは、何時でも、何処でも、気軽に弾けて、際限なく理想の音楽性の追求ができる秘めた魅力があるからだと思います。

近年、小・中学校の教育現場でも教材として取り入れているので、今後はさらに愛好者の裾野が広がりますことを願っているところであります。会員、愛好者の皆さんには、協会創立以来の10年間の歩みで築き上げた品性と指導力に対応していただくことになると思いますので、その折にはよろしくお願い致します。

この度は第19回通常総会で理事長職重任となりましたが、従前同様に一層のご協力を賜り、協会のさらなる発展を期して参りたい所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

第19回通常総会議事録

1. 日 時 平成14年6月5日(水)
開会 午後1時00分
閉会 午後2時05分
2. 場 所 名古屋市中区錦三丁目11番13号
名古屋ガーデンパレス
3. 出席状況 会員の総数 4,500名
出席会員数 3,953名(委任状含む)

4. 議事の概要

(1) 開会

定刻に、司会者の企画委員北林篤理事が挨拶。
企画委員長岩間昌一常務理事が、開会を宣言。

(2) 来賓挨拶

理事長海部俊樹氏の政策秘書佐々木昭雄氏が挨拶。

(3) 議長選出

司会者が、議長選出方法を議場に語ったところ司会者一任の声あり。よって、加藤英也副理事長を本総会の議長としたい旨語ったところ、全員一致をもって選出し、同氏は、これを了承し議長となり、挨拶をした。議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。議長は、正会員現在数の4分の3以上の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。

(4) 議事録署名人名選出

議長が、議事に先立ち議事録署名人名2名の選出について語ったところ、議長一任の発言があり、全員異議なく賛成したので、議長は、平野芳男理事及び北林篤理事を指名し、これを議場に語ったところ、全員異議なく承認した。
被選任者らは、いずれもこれを承諾した。

5. 議事

第1号議案 平成13年度事業報告承認に関する件
議長が、事業委員長御室泰常務理事に本件議案の説明を求めた。

同氏は、予め配布した資料をもとに事業報告について詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に語ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。

第2号議案 平成13年度収支決算承認に関する件
議長が、笹倉辰行事務局長に本件議案の説明を求めた。

同氏は、予め配布した資料をもとに収支決算について詳しく説明した。なお、収支決算にともない資産の総額が、36,351,955円から期末正味財産合計額37,194,290円と変更となる旨を述べた。

引き続き監事を代表し、遠島敏行監事が、計算書類及び理事の職務執行を、綿密に調査したところいずれも正確妥当であることを認めた旨を報告した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に語ったところ、全

員一致をもって原案どおり承認可決した。

第3号議案 理事及び監事の選任に関する件

議長は、当協会の理事及び監事の全員が任期満了退任するので、その改選の必要がある旨を述べた。そして、その選任方法を議場に語ったところ、満場一致をもって議長の指名に一任することになり、議長は、組織委員長奈須忠信常務理事に候補者を発表させた。そして、議長は、下記の者をそれぞれ指名し、これらの者につきその可否を議場に語ったところ、満場異議なくこれを承認可決した。

なお、被選任者らは、いずれもその就任を承諾した。

理事	愛知県稲沢市	海部俊樹(重任)
	静岡県浜松市領家	鈴木萬司(◇)
	長野県上伊那郡飯島町	北林源一郎(◇)
	愛知県丹羽郡大口町	加藤英也(◇)
	名古屋市千種区東山元町	岩間昌一(◇)
	神奈川県相模原市相模台	奈須忠信(◇)
	東京都八王子市大和田町	北林 豊(◇)
	静岡県浜松市城北	御室 泰(◇)
	愛知県丹羽郡大口町	平野芳男(◇)
	長野県上伊那郡飯島町	北林 篤(◇)
	名古屋市千種区若水	今泉和久(◇)
	静岡県浜名郡新居町	吉崎裕幸(新任)
	静岡県磐田市中泉	竹山 裕(重任)
	静岡市瀬名	木宮和彦(◇)
	横浜市鶴見区寺谷	高木東六(◇)
	東京都八王子市初沢町	高萩保治(◇)
	東京都台東区下谷	福留 強(◇)
	愛知県西春日井郡額田町	徳竹悠美子(◇)
	愛知県丹羽郡大口町	加藤昭代(◇)
	神奈川県相模原市相模台	奈須道子(◇)
	山梨県北都留郡上野原町	池田眞一(◇)
監事	名古屋市千種区東山元町	遠島敏行(◇)
	名古屋市東区東大曾根町	丹羽正夫(◇)
	名古屋市千種区東山元町	岩間みち子(◇)

(休憩)

議長が議事を再開し、休憩中に、役付理事、4委員会の委員長及び委員が理事会において選任された旨を述べ、被選任者らを奈須忠信組織委員長に報告させた。

6. 閉会

以上をもって、社団法人大正琴協会第19回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。そして、岩間昌一企画委員長が閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人名は次に署名押印する。

平成14年6月5日
社団法人大正琴協会 第19回通常総会

議 長	加藤 英也	印
議事録署名人名	平野 芳男	印
同	北林 篤	印

平成13年収支決算報告

平成13年4月1日から平成14年3月31日

【収入の部】

基本財産運用収入	77,362円
会費・入会金収入	16,500,000円
事業収入	
生涯学習	6,769,018円
定期演奏会	23,368,727円
計	30,137,745円
雑収入	454,898円
当期収入合計	47,170,005円
前期繰越収支差額	10,119,379円
収入合計	57,289,384円

【支出の部】

1. 事業費

全国生涯学習フェスティバル	5,857,787円
体験学習出展事業	819,530円
イベント助成費	2,500,000円
協会主催講演会	483,038円
地方講座等助成費	1,500,000円
定期演奏会	18,282,363円
指導者研修会	371,408円
調査研究事業	1,334,931円
機関紙	671,220円
計	31,820,277円

2. 管理費 14,504,964円

当期支出合計	46,325,241円
当期収支差額	844,764円
次期繰越収支差額	10,964,143円

講演会



平成14年6月5日(水)第19回通常総会・表彰式終了後、名古屋ガーデンパレスに於いて講師に「ヒサコヤマサキネイルスクール」学院長の山崎比紗子先生をお招きし、講演会を開催致しました。(参加者 約110名)

演題：「輝いて生きる」 「ステキに生きてみませんか」

おしゃれにステキに生きるという願いはすべての人がもっています。どのように心がけたら一度しかない人生をワクワク、ドキドキ、活き活き、ハッピーに生きられるのでしょうか？

(1) 人は何によって輝くのか

「自分がどうなりたいのか、何をしたいのか」という目標を持つことが大切です。自分の生きていく方向がみつからないと、時間と心が無駄にしてしまいます。やる気、根気を持つと、元気、勇気がでできます。自然に内面からの輝きも生まれてきます。そして、目標(志)レベルは高く、決してあきらめることなく、プラス思考を習慣づけましょう。

(2) おしゃれ心

おしゃれ心はいくつになっても持っていたいものです。その人にあったおしゃれを心得、活き活きと楽しみましょう。

おしゃれのポイントとして、①内からにじみ出る品性のあるおしゃれをする。②爽やかなおしゃれをする。③清潔感のあるおしゃれをする。ということをお勧めします。おしゃれをして自分が綺麗になること、笑うことを心がけましょう。笑顔は「感情活性化療法」として心理学的分野で実証されているだけでなく、免疫性の細胞を活性化させる効用があると医学的にも注目されています。がんの治療法としてとり入れられている程です。

(3) 人生は自分磨きの旅

人生はひとりでは生きていけない。人とのかかわりをもって生きています。「人」という字のように。

人生は出会いの旅、出会いは人生を大きく変えてしまう。孔子の教えの中に「益者三友：直(直言してくれる人)を友とし、諒(自分のことを真からわかってくれる人)を友とし、多聞(師匠を1人持つ)を友とするは益なり。」という言葉があります。輝いて生きるには、良い友と出会うことが大切です。自分にポリシーを持ち自分よりも目線の高い人と会いましょう。

(4) 輝いて生きるために

心身修療法(健康三原則)

心と体の健康を保つには心中に感謝、喜神、陰徳を持つことが大切です。

感謝とは、相手からうけた恩を心から有り難く思うことです。喜神とは、感動すること、心から喜ぶことです。陰徳とは、人から見えないところで、人の役に立つこと、小さな親切を積み重ねていくことです。

(5) 21世紀の生き方の提案

人生観、人生訓を持ちましょう。

山崎比紗子先生の人生観

〈時は今〉

今やるべきことは今行動する。

〈想〉

深い思いやりを持ち、相手の立場になって考える。

このように自分の生き方のポリシーを持つことにより、心豊かに、自分らしく生きて行けます。明るく前向きに、そしてすべてに対しプラス思考である姿は周囲の人々にも喜びをあたえます。人間として生まれたことに深く感謝し、大切に生きましょう。

第10回定期演奏会 終了報告

平成14年2月9日（土）～10日（日）の2日間にわたり、びわこホール（滋賀県大津市）において第10回定期演奏会を盛大に開催することができました。

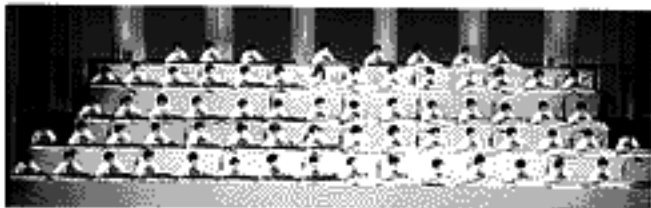
滋賀県での協会主催の行事は今回初めてということもあって、滋賀県並びに隣接県京都・奈良・大阪・兵庫・和歌山・岐阜・愛知県は勿論のこと、遠くは神奈川県・長野県からもご出演いただきました。

おかげさまで、風光明媚の地日本一の広さをもつ湖、琵琶湖が一望出来るホールでの開催ということもあり、一般会員37グループ、子供5グループの2,400余名の出場を頂き、主催担当者としてこのうえない喜びであります。

一般入場者も1,500余名と多く、出場者と合わせて4,000余名が2日間会場を埋め尽くし、定期演奏会での開催目的であります、切磋琢磨しながら大正琴の演奏技術・音楽レベルの向上を図りつつ、全国各地から集まる愛好者の美しいハーモニーを湖畔で奏でて、人々の心とふれあい、心の輪、喜びの輪を広げることの目的が充分達成されました。

琵琶湖（マザーレイク）母なる湖から発信した大正琴音楽の輪が大きく広がることを願い、無事終了できましたことをご報告申し上げるとともに、実行委員、役員、関係者の皆さんに心より感謝申し上げ報告に代えさせていただきます。

第10回定期演奏会 実行委員長
琴生流会長 加藤 英也



平成13年度 指導者研修会終了報告

大正琴音楽を通して生涯学習を推進する立場にある会員、愛好者が生涯学習の意義を理解し、広く学習機会に対応できるための資質向上を図ることを目的として下記の講師をお招きして開催致しました。

日時 平成14年3月13日(水) 13時30分～15時00分
会場 大阪ガーデンパレス「桐の間」
大阪市淀川区西宮原一丁目3番35号
講師 京都学園大学人間文化学部教授
今西幸蔵先生

受講者数 97名
演題 「学びでつながる大正琴の世界」
要旨

- ①生涯学習は自分の好きなこと、身近なところから気軽に始め、自分自身輝いている存在であることを認め、周囲の連なりを持って楽しく健康に生きることが大切である。
- ②学びのグループを通して異なった価値観のある人間同志を認め合い、お互いに生活を高めながら社会に還元できるようにコミュニティづくり、人づくりをすることが生涯学習の目的である。
- ③音楽は楽しく、心と体に癒しを与え、ゆとりと学ぶ力をつけるのに大正琴は有効である。
- ④会員の皆さんがコミュニティづくりの核となり、自分自身を高め、地域、全国、世界的に発展させて欲しい。
- ⑤違った団体、施設、指導者との交流と学習の促進に大正琴愛好者の活力に期待したい。
- ⑥次世代の人達の育成のために子供達の学習活動の中に加わり、学校の中に根をおろし学びの場をつくる。
- ⑦学びとは人間の持っている意識、行動、態度を変えることである。学んだ成果を社会に還元し、評価することで生涯学習社会がつけられる。



会員たより

埼玉県きさらぎ支部 池澤利子

「大正琴との歩み」

大農家と三世代、主人は政治歴二十有餘年数々の苦勞と神経と疲勞が重なり、四年前、「脳出血」で障害を起こし半身不随となってしまいました。

「麻痺の身の癒ゆ日は遠し冬野路」

そして昔気質の九十三才の主人の母親の二人の身の回りの介護を日々積み重ねて動かしまわっている私です。

「千重団小さき老婆身に余る」

大正琴と出逢ったのは十年前社会教育講座に入っている時の事でした。「私、大正琴をやりたい……」と教育課の先生にお願いしましたら、中央センターでやって居ります、と言われ、一度見学に行きました。その時先生とお逢いし、優しい御指導と琴の音色が私の心を和ませ癒れ身を癒してくれました。

しかし、還暦近い節杖立った指は左右に動きません。ごちない指を丁寧に一生懸命に勉強をしました。

「鄭重に基本を先に琴始」

だが記憶力の鈍い私がかたえ趣味として習っても少しも上達しませんでした。

「吾が輪かみしめて弾く琴始」

自分の時間は夜床に入る前の一時間位です。一刻一刻と有意義に楽しみます。

「短夜の胸の余白に琴奏で」

そうだ、自分の人生も大事にしなければ、夢もある、希望もある。

「慰めの琴の調べや箱柳」

そして三年の年月に指導資格に挑戦を重ねてまいりました。昨年は名取披露をさせて頂き、身に余る光栄でございます。私にとっては人生最高の幸せと大正琴の音を心の照明である事と痛感致しました。

「喜びの高鳴る胸や秋舞台」

八十五才の実姉と妹が電車で祝の舞台を見に来てくださいました。これからの限りない人生も先生への感謝とリズムののった行路でありたいと願って居ります。

「緊張の舞台終りて温め酒」



理事長表彰状受賞 おめでとう

社団法人「大正琴協会表彰規定」に基づき、平成14年6月5日に下記の皆さんが理事長表彰を受賞されました。(敬称略)

◎規定第2条3項の当協会の榮譽を高めるにふさわしい功績のあった者(3名)

星名 克己 新潟県新潟市寺尾東 小塚 茂雄 北海道函館市時任町
安藤 隆幸 埼玉県所沢市小手指町

◎規定第2条4項の指導者として永年にわたり大正琴音楽の指導に尽力した者(47名)

三上 典子	茨城県真庭郡協和町	市脇 経子	東京都足立区竹の塚
清水 祐子	愛知県稲沢市稲葉	国場 好子	沖縄県那覇市牧志
小池 幸子	愛知県一宮市大赤見	寺島 総子	滋賀県甲賀郡水口町
小野トクヨ	大分県大分郡扶間町	山屋 玲子	東京都練馬区土支田
吾郷 静枝	鳥根県大田市大田町	矢島 祥子	埼玉県川口市安行領根岸
杉原 紀	鳥根県松江市山代町	前谷とし子	滋賀県大津市島の関
中村 千賀	高知県高知市長浜	鈴浦 充子	岐阜県海津郡平田町
小松田侑美佳	愛媛県宇和島市藤江	松浦 明枝	岐阜県大垣市郭町
植山 繁子	大阪府箕面市白鳥	伊藤比奈湖	埼玉県入間市下藤沢
伊藤 景子	大阪府河内長野市大師町	吉沢 栄子	長野県須坂市北旭ヶ丘町
酒井 武	岐阜県各務原市柿沢町	篠原あや子	長野県南佐久郡佐久町
根本美智子	東京都練馬区貫井	神津 芳恵	長野県上田市五加
野出マサ子	埼玉県加須市大越	深井 恵吉	長野県中野市一本木
川畑 輝夫	熊本県熊本市長嶺南	近藤 重子	長野県塩尻市大門幸町
山田 明子	岐阜県大垣市中野町	山崎とみ江	長野県塩尻市広丘高出
小林小夜子	岐阜県各務原市蘇原町	進藤喜美雄	山梨県北巨摩郡小淵沢町
柳澤 鈴江	神奈川県海老名市国分寺台	中野 剛	岡山県岡山市奉還町
下斗米幸子	神奈川県愛甲郡愛川町	卯山 かよ	岡山県岡山市金岡西町
田辺美佐子	神奈川県横浜市旭区南希望ヶ丘	木村 幸子	岡山県岡山市赤坂台
比留川朝江	神奈川県大和市下鶴間	木村 静輔	広島県広島市西区己斐中
家田真知子	愛知県一宮市今伊勢町	山田 実	広島県安芸郡海田町
川名シズエ	埼玉県上尾市愛宕	佐々木てる子	宮崎県日南市星倉
北居美登利	滋賀県坂田郡近江町	龍神 久代	宮崎県宮崎市新名爪
大城 和枝	沖縄県島尻郡玉城村		

◎規定第2条5項の地域において大正琴の普及に貢献し特別な功績のあった者(3名)

塚本松太郎 滋賀県愛知郡愛知川町 池田 洋 滋賀県長浜市中山町
石岡 英明 滋賀県水口町

受賞者の皆さん、おめでとうございます。今後とも後継者育成と大正琴音楽の文化的地位向上のため一層の精進をご祈念申し上げます。

(社)大正琴協会主要事業予定

☆第14回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会

- 日 時 平成14年10月13日(日)
- 会 場 石川県厚生年金会館
金沢市石引4丁目17-1
TEL 076-222-0011

☆生涯学習見本市出展事業

- 日 時 平成14年10月10日(木)～同年10月14日(月)
- 会 場 石川県産業展示館4号館
金沢市袋島町南193番地
TEL 076-268-1121

☆第20回通常総会

- 日 時 平成14年12月4日(水)13時00分～
- 会 場 大阪ガーデンパレス
大阪市淀川区西宮原1-3-35

☆10周年記念定期演奏会

- 日 時 平成15年2月14日(金)～2月16日(日)3日間
初日：大正琴とゲスト歌手(由紀さおり、安田祥子、狩人、長山洋子)との競演
※テレビ東京系列全国放映のための収録公開番組
2・3日目：会員、愛好者、指導者、子供グループの演奏
- 会 場 名古屋市民会館 大ホール
名古屋市中区金山一丁目5番1号
TEL 052-331-2141

※お誘い合わせて大勢の皆さんのご出場を期待しています。

編集後記

協会設立10周年の節目にあたります。会員・愛好者の日頃のご理解、ご尽力に深謝するとともに、祝慶申し上げます。

多くの会員の方々は、協会設立前から大正琴音楽を楽しみ、みずから学びの道を見つけられ、自分らしく、自分に誇りを持って、生涯学習を先達した強い意思と努力で協会の今日を築いて下さったと思っています。

21世紀も新たな仲間との出会い、心のふれ合い、人づくり等に音楽を楽しみながら、気軽にゆとりを持って活躍して下さいようご期待申し上げます。

10周年記念演奏会は多数の会員、愛好者のご出場をお待ち申し上げております。